

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんざいだんほうじん まきあさみばれえだん 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団	団体ウェブサイトURL https://www.ambt.jp/
代表者職・氏名	理事長 福田恭三	
制作団体所在地	〒 164-0001 最寄り駅(バス停) 中野 東京都中野区中野6-27-13	
電話番号	03-3360-8251	
ふりがな 公演団体名	いっぽんざいだんほうじん まきあさみばれえだん 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団	団体ウェブサイトURL https://www.ambt.jp/
代表者職・氏名	理事長 福田恭三	
公演団体所在地	〒 164-0001 最寄り駅(バス停) 中野 東京都中野区中野6-27-13	
制作団体 設立年月	1956年11月	
制作団体組織	役職員 理事長 福田恭三 理事 保坂アントン慶、山田佳代、 監事 見瀬賢悟 評議員 伊集院宏三、塚田渉、宗像雄	団体構成員及び加入条件等 芸術監督:三谷恭三 バレエミストレス:沢田加代子、 挟間祥子、ゆうきみほ、小倉 佐知子 舞踊手:青山季可、菊地研、清瀬千晴、 阿部 裕恵、水井 駿介(他70名) 加入条件:クラシックバレエの技術を体得し、かつプロフェッショナルとしての力量を有すると認定される者
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名 黒澤希
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 小林久子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	kurosawa@maki-ballet.jp kobayashi@maki-ballet.jp	

<p>制作団体沿革</p>	<p>1956年11月 1933年に設立された橘秋子舞踊研究所を母体に牧阿佐美バレエ団創設 1993年 7月 公益財団法人橘秋子記念財団傘下に入る 2015年10月 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団となる 2016年 5月 牧阿佐美バレエ団創設60周年記念式典挙</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1972年～1998年 文化庁移動芸術祭、青少年芸術劇場(各地中学生対象) 1975年、79年、83年、85年、86年、98年 文化庁芸術祭「白鳥の湖」 1979年、85年、文化庁こども芸術祭(各地小学校巡回)「白鳥の湖」 1988年 大阪府吹田市市民劇場「白鳥の湖」 1991年、92年 都民バレエ名作劇場(各年、都内3カ所巡回) 「リーズの結婚～ラ・フィエユ・マル・ガルデ～アシュトン版」(全幕) 1994年 新宿区文化振興会 名作バレエ劇場「白鳥の湖」 1995年 桐蔭学園(神奈川県) 鶴川メモリアルホール 「リーズの結婚～ラ・フィエユ・マル・ガルデ～アシュトン版」(全幕) 1995年、96年 都民バレエ名作劇場(都内3カ所巡回)「三銃士」 1999年～2004年 文化庁芸術体験劇場(各年、小学校、中学校巡回) 2000年 東京藝術大学 芸術センター「舞曲の楽譜」 2008年 日生劇場ファミリーフェスティバル 字幕付き公演「ジゼル」(5回公演) 2009年 桐蔭学園(神奈川県) 鶴川メモリアルホール(1回公演)及び昭和女子大学(東京) 人見記念講堂(1回公演)「白鳥の湖」 2014年 日生劇場ファミリーフェスティバル 字幕付き公演「ドン・キホーテ」(5回公演) 2019年 日生劇場ニッセイ名作シリーズ2019(学校生徒対象) 公演「ドン・キホーテ」(5回公演) 2021年 日生劇場ファミリーフェスティバル 「白鳥の湖」(6回公演)(事前説明付き) 2021年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校、中学校対象)(10回公演) 2022年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校、中学校対象)(5回公演) 2023年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校対象)(8回公演)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>山梨県立やまびこ支援学校 2021年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)「ドン・キホーテ」</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=ePD2X-Wbj5Y</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	初めてのバレエ 参加して楽しもう！古典バレエの名作「白鳥の湖」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	原振付:マリウス・プティパ、レフ・イワノフ 演出・改訂振付:三谷恭三(テリー・ウェストモーランド演出・改訂振付に基づく) 音楽:P.I.チャイコフスキー 舞台美術・衣装:ボブ・リングウッド			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	公演時間 90 分
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	チャイコフスキーの荘厳な音色と美しい白鳥達が織りなす純白の世界、オデット姫と王子の哀しい愛の物語。バレエの代名詞と謳われ、見る者すべてを魅了し続けてきた不朽の名作『白鳥の湖』。 『白鳥の湖』は、世界中で愛され続けてきました。その間数々の振付家が改訂に挑み、現在では「バレエ団の数だけ『白鳥の湖』がある」と言われるほど沢山の版が存在します。牧阿佐美バレエ団の『白鳥の湖』は、プティパ/イワノフの原振付を忠実に受け継ぐテリー・ウェストモーランド版。オリジナルの劇的要素そのままに感動の物語を今に伝えます。			
演目選択理由	・バレエを見たことがない人でもバレエと言えば「白鳥の湖」を思い浮かべるほど一般の認知も高い名作であり、牧阿佐美バレエ団は初演時に上演したオリジナルの演出をそのままにこれまで正統派の伝統を守り伝え続けています。劇場での本公演で使用する衣装や演目の一部など、子どもたちに「本物」を実際に見せて伝統あるものを未来へ伝えていくことの大切さを感じてほしいと考えています。 ・2幕のオデットと王子の出会いのシーンから始まり、4幕のフィナーレまでを学校公演特別バージョンとして上演し、「白鳥の湖」という作品を知っていただけるように構成します。白鳥たちのクラシックバレエならではの動きや、コールド・バレエの幻想的な美しさ、3幕のディベルティスマンの多彩さを見せることで、バレエの奥深さに触れることができます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ワークショップ> 体を使ってバレエを理解するために、体験を実施します。 ■バレエの基本ポジション:簡単なステップを一緒にやってみよう！ ■出演:ダンサーと一緒に組んで踊ってみよう！ ■「白鳥の湖」のストーリー解説 <本公演> ■応援:バレエを楽しみ鑑賞しよう！バレエは静かに鑑賞しなければいけないと思いませんか？実際の公演ではブラボーの声援が飛び交ったり拍手で応援したりします。 ■客席側も登場人物となって演じることで、舞台と一体になって楽しんでみましょう。 生徒の皆さんに各国の貴族役となってもらい、出演者と一緒に動くシーンを作ります。 バレエは言語表現ではなく、音楽に合わせた動きやマイム等の身体表現であり、心で理解できるようにする。踊り・音楽・美術・ファッション・演技の総合芸術を目で見、耳で聴き、心で感じ、楽しんでもらうことを目標にします。			
出演者	芸術監督:三谷恭三 舞踊手:光永百花、三宅里奈、西山珠里、今村のぞみ、高橋万由梨、菊地研、水井駿介、近藤悠歩、正木龍之介、小池京介 他 計24名			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 24 名	運搬	1台は電源車、他衣装運搬としてワンボックスカー1台	
	スタッフ: 15 名		積載量: 4 t	
	合計: 39 名		車長: 10 m	
			台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		午前公演希望の場合 のみ発生 約3時間半	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7:30	7:30～13:00	13:30～15:10	10分	15:30～16:45	17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
				11日	10日	
	11月	12月	1月	計	21日	
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	男女各4名、計8名
		鑑賞人数目安	400名(体育館広さによる)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【設営した舞台・演出の様子】



開演前



上演中



【子どもたちの出演体験】



女子生徒4名は男性ダンサーと組んでリフトをしてもらいました。



男子生徒4名は女性ダンサーと組み、踊るダンサーのサポートをしました。

出演ダンサーと一緒に演技をしました。
(下手側、男女生徒計8名)

終演後、鑑賞・体験をした生徒より感想のひとつ
(下手側、女子生徒2名によるスピーチ)

※「ドン・キホーテ」公演時の実績



四羽の白鳥



オデットとジークフリート



各国の姫君の踊り(一部)

【公演団体名 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500人(体育館の広さにより、柔軟に対応可能)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップは2部構成です。</p> <p>1部 (約45分)【知識/体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バレエの歴史の説明:イタリアで生まれ、フランスで花開き、ロシアで成熟したそのころ日本では何時代? バレエの成立を知ること、伝統を感じてもらう。 ■ バレエに使用する靴の種類や衣装の説明をします。 ■ 柔軟・ストレッチ……ダンサーと一緒に柔軟やストレッチを行います。 ■ クラシックバレエのレッスン……通常バレエ団で行っているクラスレッスンの一部を披露します。その後簡単な動作を生徒の皆さんにも一緒に行ってもらいます。 ■ パ・ド・ドゥ(組んで踊る)……ダンサーが男女で組んで踊るテクニックを披露します。数名の生徒の方には、ダンサーと組んで踊る部分も実際に体験していただきます。 ■ マイム……バレエには台詞がありません。代わりに手の動きで言葉を伝えます。基本的なマイムを知るだけで物語がよく分かる!一緒にやってみましょう。 <p>2部 (約45分)【知識/体験/音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「白鳥の湖」についての説明と、公演で(共演する)部分の練習をします。曲の説明をしながら、出演(参加)する際の自分の役割(姫の侍女やお小姓役、貴族の役など)を自覚し、なりきって演じることを体験してもらいます。バレエならではの動きがあることを学びます。 ■ 「白鳥の湖」から、一部抜粋して実演します。 		
ワークショップのねらい	<p>バレエは言葉のない芸術です。言葉がないからこそ、誰にでも伝わる芸術でもあります。初めて見たり触れたりする子供たちも多いと思います。ワークショップで、バレエの基本を見てもらい、作品の一部を細かく解説したり、実際に音楽をよく聴きながら体を使って動いてもらうことで、バレエへの理解を深め、公演への期待を膨らませてもらいたいと思います。</p> <p>そして、知識(歴史のお話し)×体験(バレエの動き)×音楽でバレエ公演を楽しく鑑賞できる知見を身につけてもらうことがねらいです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>【服装】 ワークショップ当日は体操服を着用してください。または動きやすい服装をお願いします。スカートはお勧めできません。</p> <p>【子供たちの参加について】 全員で参加していただきますが、ステージの上でダンサーと組んで参加する生徒の代表(5~6名)を決めておいていただくと当日スムーズに進行することができます。代表はバレエ経験を問わずどなたでも結構です。</p> <p>※観賞人数は少人数から大人数まで柔軟に対応可能です。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物のバレエ公演を見る機会を広げたい 子供に人気の習い事としてのイメージが強いバレエ。残念ながらバレエを習う子供でさえ、本格的なバレエ公演は見たことがないという方が少なからずいます。フィギュアスケートなどはテレビで見たことがあるのに、とても残念なことです。地方での本格的なバレエ公演機会が少ないことが理由でしょう。 一方で近年世界において日本人のバレエダンサーが目まぐるしく活躍し、その身体性や音楽性で高い評価を得ています。なぜ日本では評価されないのでしょうか？それはバレエを芸術として理解する土壌が育っていないためとも考えられます。 バレエは言葉のない芸術です。言葉がないからこそ、世界中で言語の壁を乗り越えて身体表現や音楽性で勝負ができるのです。日本でもダンス等の身体表現を通じて、表現の多様性が認められつつあります。子供のころから本物の舞台芸術に触れ、その素晴らしさを理解することで世界に通用する感性を磨く一助となることと考えています。 60年以上歴史を持ち、日本のバレエ界を牽引し続けている牧阿佐美バレエ団は全幕バレエ、創作バレエ合わせて100以上のレパートリーがあり、全て一流のスタッフ、ダンサーによって公演されています。日本が芸術面でも世界と肩を並べて表現の多様性を理解できるようになるためには、幼少期からの本物の舞台芸術に触れる機会が欠かせません。 ・芸術を理解する心を育みたい 特にバレエは芸術の中でも「踊り・音楽・美術・ファッション・演技」に通じる総合芸術とされています。若いうちに一流芸術に触れること、優れた芸術作品を鑑賞、経験していくことは重要です。バレエ芸術の何がすごいのか？を理解するためには知識が必要です。逆にこの多少の知識さえあれば、バレエはとても面白く理解しやすいものになります。確かにバレエならではの足をみせる衣装や独特な体の使い方は見たことがない人にとっては奇妙に見えるかも知れません。それまで自分が経験してきた価値観と異なる文化や、芸術に興味を持ち、より深く知りたいと思うにはきっかけが必要です。今回の取り組みではワークショップを通じて、プロのダンサーからたくさんの方のきっかけを得てほしいと考えています。日々鍛錬を続けている牧阿佐美バレエ団のダンサーと接する機会は、児童、生徒の心に残るものと確信しております。
	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前のワークショップを牧阿佐美バレエ団の優秀なスタッフやダンサーにより分かりやすく丁寧に行います。 ・児童、生徒の年齢に応じて適任のダンサーをキャスティングします(牧阿佐美バレエ団のダンサーは系列の歴史あるバレエ学校の先生を務めています。そのため子供の年齢に応じた対応方法が身に付いています。) ・コミュニケーションを円滑に行います。実施校と前もって連絡を取り合い、担任の先生が巡回公演の経験がない場合やバレエを良く分からなくても安心して担当していただけるようにします。牧阿佐美バレエ団では優秀なスタッフ、事務職員を有しており、ご質問やご意見に即時対応出来る体制を整えています。